

経営方針

■ 経営基本理念

地域社会の発展に貢献する

■ 経営ビジョン

地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関

■ 行動指針

- ① 金融を通じて中小企業の発展と住民の生活向上のために心から奉仕する。
- ② 役職員は常に一体となって健全かつ積極的な経営に努める。
- ③ 職員の生活向上を図り明るく朗らかな職場を築く。

■ 当金庫の経営の考え方

● 狭域高密度経営

預金・貸出金の残高が多いことが必ずしも経営の健全性に結びつかないことが明らかになっています。

当金庫は定められた営業範囲の中で、さらに地域に密着し、独自の金融サービスをより充実させていく所存です。

● 健全・効率経営の継続

厳しい経済環境のもと、当金庫がこれまで標榜してまいりました健全・効率経営に今後も努めてまいります。

● 基本的な経営姿勢

当金庫は、経営理念に基づいて役職員の行動指針を定め、当金庫が目指す姿を経営ビジョンとして描いています。

大きく変化する金融環境のもと原点に立ち返って、地域協同組織金融機関としての使命を再確認しています。

● 真に存在感のある信用金庫でありつづける

数字が表す以上に、地域のみなさまに「頼りがいのある金融機関だ」といわれるよう努力してまいります。

■ 当金庫の主な事業

● 預金業務

当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、譲渡性預金等

● 貸出業務

手形貸付、証書貸付、当座貸越、手形の割引(でんさい割引含む)

● 為替業務

内国為替業務、外国為替業務

● 証券業務

有価証券投資業務、公共債の引受・販売、投資信託の販売等

● 保険募集業務

年金保険、終身保険、がん保険、医療保険、火災保険、傷害保険等

● 代理業務

日本銀行、日本政策金融公庫、信金中央金庫、住宅金融支援機構等

● その他

債務保証、貸金庫業務、公金取扱業務、電子債権記録業に係る業務、確定拠出年金業務等、企業等の経営改善支援

長期経営計画(2018年～2028年)

高齢化と人口減少がますます進み、地域社会・地域経済はさらに縮小していくことが予想されます。しかしながら、当地域には三遠南信自動車道の全面開通やリニア中央新幹線の東京・名古屋間開通といったビッグプロジェクトが着々と進行しており、地域が大きく発展する機会となることが期待されています。そこで、この機会を捉えて地域の発展とともに当金庫が発展していくため、当金庫の10年後のありたい姿を新たな経営ビジョンとし、その実現のための道筋を長期経営計画「架け橋2028」として描きました。

当金庫が健全経営を維持していくためには、当金庫自ら地域とお客さまの成長や活性化に寄与すべく行動し、地域の発展に貢献することが不可欠であり、それは当金庫の使命でもあります。

長期経営計画「架け橋2028」のもと、飯田信用金庫の役職員全員がそのことをしっかりと認識し、経営ビジョンの実現に向け、総力を結集し立ち向かいます。

■ 長期経営計画の名称

架け橋2028

飯田信用金庫が現在から10年後の未来までの時代と時代の間をつなぐ「架け橋」の役割を担い、また南信州と三河・遠州地域、南信州と東京・神奈川・山梨・岐阜・愛知、という地域と地域の間をつなぐ「架け橋」の役割を担うことにより、南信州地域の発展に貢献したいという思いから、長期経営計画の名称を「架け橋2028」としました。

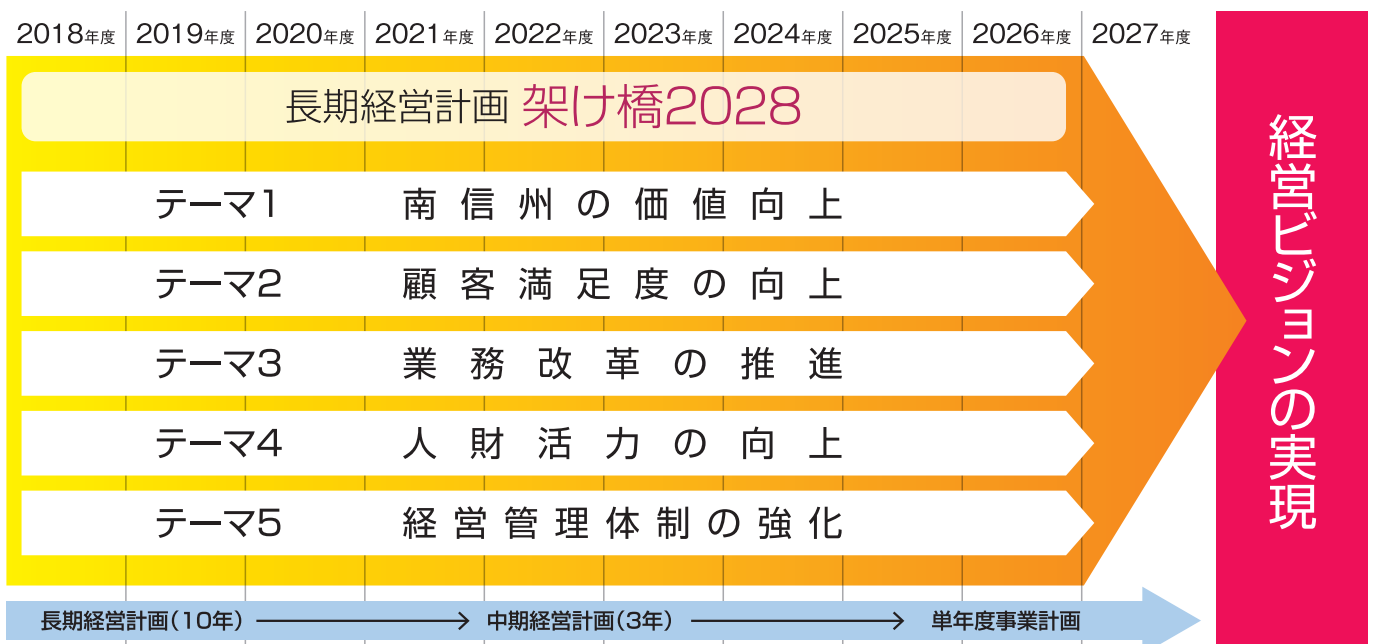
■ 経営ビジョン(10年後のありたい姿)

地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関

10年後の2028年、飯田信用金庫は次のような姿になりたいと考えています。

- 常にお客さまの立場になって考え、行動することで、強い信頼関係が結ばれている。
- 地域の現状をしっかりと把握し、地域の将来の可能性を見据え、地域の発展に寄与する施策を自ら積極的に展開し、南信州の価値向上に貢献している。

■ 経営ビジョン実現に向けたフレームワーク



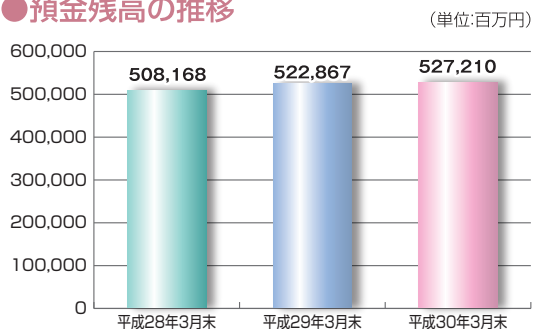
業績ハイライト

金融機関の総合的な競合はますます厳しくなっていますが、地域のみなさまのご支援により、預金、融資、収益等の各部門で、次のような業績を挙げる事ができました。

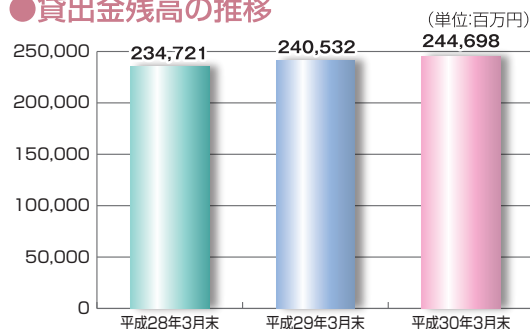
業績は堅調を維持しています。

■ 預金・貸出金の状況

● 預金残高の推移

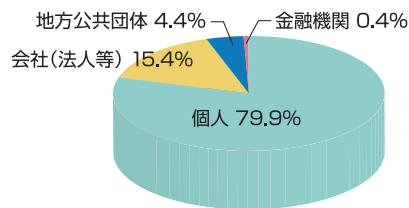


● 貸出金残高の推移



● 預金積金について ▶ 詳細P37

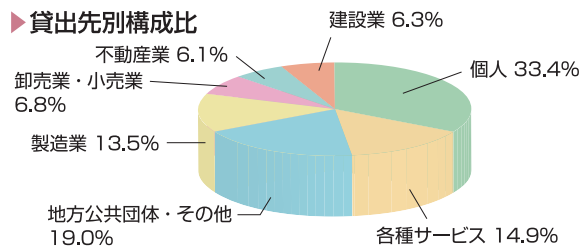
▶ 預金者別構成比



▶ 預金積金残高 5,272億円

● 貸出金について ▶ 詳細P38

▶ 貸出先別構成比



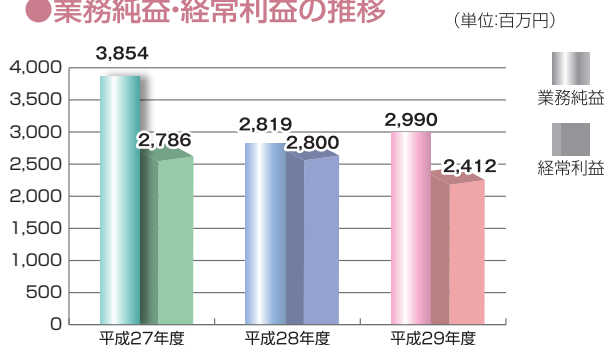
▶ 貸出金残高 2,446億円 ▶ 預貸率(注) 46.4%

※貸出金は原則として会員の方にご利用いただきます。
(注)預金の残高に対する貸出金の残高の割合を預貸率といいます。

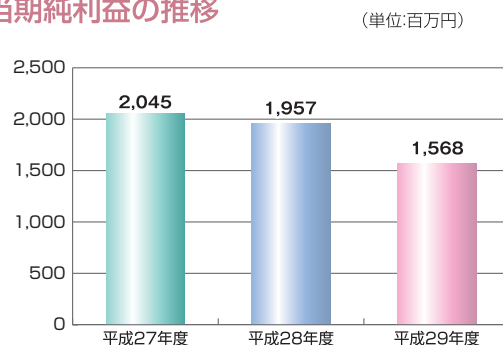
預金の期末残高は、法人預金が前年度比で32億30百万円減少しましたが、個人預金が75億74百万円の増加となったため、総体では43億43百万円増加し、5,272億10百万円となりました。また、貸出金の期末残高は、個人向け貸出金が前年度比で38億95百万円増加し、事業向けおよびその他貸出金については2億71百万円の増加となったため、総体では41億66百万円増加し、2,446億98百万円となりました。

■ 収益の状況

● 業務純益・経常利益の推移



● 当期純利益の推移



前年度と比べて減益となったものの、年度目標を達成することができました。

有価証券の含み益は332億円。

■ 有価証券の状況

● 平成30年3月末／保有有価証券の時価情報

(単位:百万円)

		取得原価	時 価	評価差額
保有有価証券	株 式	8,014	11,983	3,969
	債 券	238,345	261,798	23,453
	その他	34,175	40,043	5,868
合 計		280,534	313,825	33,290

お客さまからお預かりした預金のうち、貸出金に回らない資金は主に有価証券にて運用しています。堅実な資金運用と運用資産の健全化に取り組んだ結果、当期末の有価証券の含み益は332億円となりました。これは、信用金庫業界トップクラスの水準です。

自己資本の額は539億円。

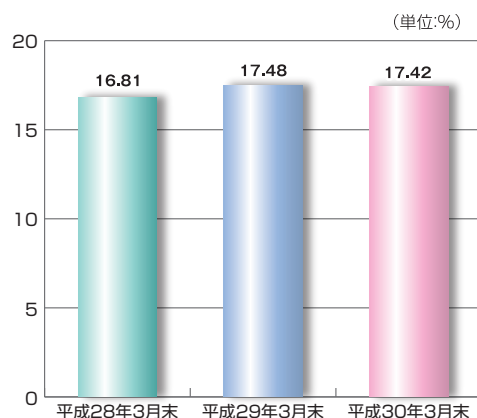
■ 自己資本比率(単体)

● 自己資本比率の推移

分子である自己資本の額は、当期純利益15億68百万円を計上したことなどから、前期末比3.23%増加し539億82百万円となりました。一方、預金の堅調な増加に伴い総資産額が増加したことに加え、貸出金やリスク・ウェイトが高い有価証券の残高が増加したことなどから、分母であるリスク・アセットは前期末比3.61%の増加となりました。

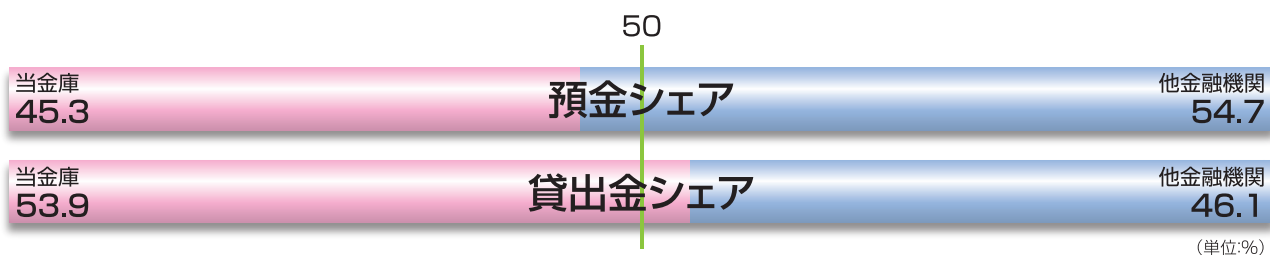
この結果、当期末の自己資本比率は、前期末の17.48%から0.06ポイント低下し17.42%となりました。

資産の増加などにより自己資本比率は若干低下しましたが、当金庫の自己資本比率は国内基準の4倍以上となっており、強固な体質を維持しています。



地区内シェアはNo.1。

■ 地区内シェアの状況



地域のみなさまから厚い信頼をいただき、当金庫の主要営業地区である飯田・下伊那の金融機関(ゆうちょ銀行を除く)内における預金残高シェアは45.3%、貸出金残高シェアは53.9%となっています。(みなみ信州農協は2月末、その他の金融機関は3月末の残高による比較) ※他金融機関は、飯田下伊那地区内の銀行、信用組合、農協における預金、貸出金の合計

新入職員入庫式



平成29年
4月3日(月)

総合職6名、専任職14名の新入職員を迎え、理事長から一人ひとりに配属先を記した辞令書が交付されました。新入職員は3月21日から事前研修を重ね、4月10日から配属先での業務を開始しています。

SYMS定期総会記念・講演会



平成29年 4月11日(火)

政策研究大学院大学名誉教授・国際都市研究学院理事長の松谷明彦氏を迎え、「少子高齢化と地域社会～企業として何をなすべきか～」のタイトルでご講演いただきました。

オーケストラと友に音楽祭2017



平成29年 5月3日(水・祝)～6日(土)

「楽しもう」「学ぼう」「もっと身近に」をテーマにした音楽祭で、名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏のほか、小学生のための音楽ひろば、音楽クリニック、そよ風コンサートなどさまざまなプログラムが開催されました。

オーケストラと友に音楽祭実行委員会

しんきん事業承継 M&Aセミナー



平成29年 5月19日(金)

第1部では、あがたグローバル税理士法人代表社員・税理士の山崎健児氏により「事業承継・自社株対策」について、第2部では、信金キャピタル株式会社取締役の田中進氏により「M&Aを活用した事業承継・拡大」についてご講演いただきました。大きな反響を踏まえ、引き続き本セミナーの開催を企画してまいります。

第24回 天竜川水系環境ピクニック



平成29年
5月20日(土)

ゴミ分別の意義や大切さを考えるとともに天竜川の現状を体感し、循環型社会を目指す環境美化キャンペーンとして公益財団法人長野県テクノ財団伊那テクノバレー地域センターリサイクルシステム研究会の主催で行われており、当金庫の職員も毎年多数参加しています。

第20回 ツアーオブジャパン 南信州ステージ



平成29年 5月25日(木)

ツアーオブジャパンは、UCIアジアツアー-2.1にカテゴライズされる自転車ロードレースであり、日本国内では都府県をまたぐ唯一のステージレースです。南信州ステージは飯田駅前～下久堅周回コース～松尾総合運動場前の絶景コースを疾走し、沿道では観客が飯田名物の焼肉を楽しみながら応援します。

TOJ南信州ステージ実行委員会

第9回 竹宵まつり 100万人のキャンドルナイト



平成29年 6月3日(土)

「でんきを消して、スローな夜を。」当日は午後7時30分から、イベント会場周辺で一斉ライトダウンを行っています。竹宵とは、地域の竹林から竹を切り出し、地元の皆さんが製作した竹灯ろうです。キャンドルのほのかな明かりが灯ることで、幻想的な風景が広がります。

百万人のキャンドルナイトin南信州実行委員会

SYMS同友会定期総会・記念講演会



平成29年 6月28日(水)

国際ジャーナリスト・ニュースキャスターの小西克哉氏を迎え、「これでもいいのかニッポン～米・中新冷戦を前に～」のタイトルでご講演いただきました。

県下信用金庫体育大会 野球・庭球の部



平成29年 7月15日(土)

職員会野球部・庭球部が伊那スタジアムで開催された大会で日頃の成果を発揮しました。野球は惜しくも準決勝で敗退してしまいましたが、庭球は女子ペアが見事優勝しました。

信濃グランセローズ



平成29年
7月17日(月・祝)

信濃グランセローズ

県飯田運動公園多目的グラウンドで、7mの距離で2分間に何回キャッチボールできるかを競う「キャッチボールクラシック2017飯田大会」が開催されました。信濃グランセローズは創設11年目となる2017年に初優勝を達成しました。

高校生インターンシップ



平成29年
7月18日(火)・19日(水)

就業的な体験を通じた勤労の尊さや職業観の育成を目的としてインターンシップを毎年実施し、地元の高校生に当金庫の業務を体験いただいています。

SYMSビジネスマッチングフェア



平成29年
7月19日(水)・20日(木)

浜松市のアクトシティ浜松において、ビジネスマッチングフェアin Hamamatsu2017が開催されました。SYMS広域連携委員会がサポートし、出展企業2社および南信州のPRを行いました。

いいだ人形劇フェスタ 2017



平成29年 8月1日(火)~6日(日)

国内はもとより、海外からもプロ劇団やアマチュア劇団、学生劇団、地元中学校人形部などが参加する日本最大の人形劇のお祭りです。多くの世代と様々な地域の人々との交流によって、地域文化活動の振興、誇りと愛着の持てる地域づくりと人形劇文化への貢献を目指しています。

いいだ人形劇フェスタ実行委員会

小学生向けお金の体験教室



平成29年 8月5日(土)

「親子で楽しもう♪夏休みお金の体験教室&レクリエーション」と題し、約200名のみなさまにお札作りや様々な遊びを体験していただきました。

第36回 飯田りんごん



平成29年
8月5日(土)

「りんごん りんごん ホイ おいな〜」の掛け声に合わせて盛大に踊り、連帯と協調の輪を広げます。当金庫の役職員も総勢212名参加し、飯田りんごん参加連の中でも最大級の規模で祭りを盛り上げます。

大学生インターンシップ



平成29年 8月16日(水)

当金庫では例年採用活動開始前に、学生から「発見される」「選ばれる」ための機会として職業体験型インターンシップを実施しています。ただし、採用試験とは直接の関係はありませんので、大学3年生・短大1年生に気軽にご参加いただいています。

BCP訓練



平成29年 8月26日(土)

BCP(Business Continuity Plan = 事業継続計画)は、緊急事態発生時事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。当金庫では災害発生時の対応訓練を毎年実施しています。

電話対応コンクール



平成29年
8月29日(火)

電話対応コンクール飯田・阿南地区大会が開催され、当金庫からも14名の職員が参加しました。4名が優勝・優秀賞(3~5位)を受賞し、飯田・阿南地区代表選手として長野県大会へ出場しました。

信州ブレイブウォリアーズ 飯田大会



平成29年 9月9日(土)

前日は当金庫提供のバスケットボールクリニックが開催され、地元の男子高校生約40名に対し所属プロ選手が指導しました。東京エクセレンスとのプレシーズンゲーム当日は、ほぼ満員の854名の観客が見守る中、62-47で見事勝利を収めました。

©SHINSHU BRAVE WARRIORS/B.LEAGUE

県下信用金庫体育大会 排球・卓球の部



平成29年
9月9日(土)

職員会排球部・卓球部が松本市総合体育館・松本市本郷体育館で開催された大会で日頃の成果を発揮しました。男子排球は準優勝という結果を収めました。

第17回 萩元晴彦ホームタウンコンサート



平成29年 9月18日(月・祝)

平成8年に始まった当金庫主催の萩元晴彦ホームタウンコンサートは第17回を数え、世界的ビオラ奏者4名で構成される「ザ・イマイ・ヴィオラ・カルテット」とバンドネオン奏者の三浦一馬氏が出演し、約600名の観客を魅了しました。

萩元晴彦ホームタウンコンサート実行委員会

年金友の会特別公演



平成29年
9月20日(水)・21日(木)

当金庫で年金を受給されている方を対象に美川憲一&コロケスベシャルジョイントコンサートを開催し、2日間4公演で4,500名超のお客さまに抱腹絶倒のステージをお楽しみいただきました。

フードバンク信州への非常食寄贈



平成29年
10月2日(月)

当金庫本支店に配備されている非常食が11月に更新期を迎えるにあたり、破棄するのではなく有効な活用ができないかと検討する中、飯田市から特定非営利活動法人フードバンク信州をご紹介いただきました。同法人の飯田拠点である地域循環型支援ネットワーク「ほほえみのゆめプロジェクト」を通し、飯田下伊那地域を中心に、支援を必要とする人や福祉施設、団体等に届けられました。

第33回 各店対抗ゴルフ大会



平成29年
10月5日(木)

お客さまの中から代表選手を各営業店で数名ずつ選抜し、計189名が優勝目指して競い合いました。毎年ハイレベルな戦いが繰り広げられ、表彰式も盛大に開催されています。

特別養護老人ホーム ボランティア



平成29年
10月7日(土)~28日(土)

平成27年度、創立90周年記念事業として開始したボランティア活動です。南信州広域連合が管轄する特別養護老人ホームのうち受入希望のあった13施設で、120名の役職員が窓拭き、車イス洗い、クモの巣払い、駐車場掃除、草取りなどの清掃作業を実施しました。

第21回 営業係ロールプレイング大会



平成29年
10月28日(土)

課題解決型提案の実践ができる職員の養成を目的とし、事業性評価に基づく企業の課題把握をテーマとした営業係ロールプレイング大会を開催しました。各店1~2名の代表選手が日々の鍛錬の成果を存分に発揮しました。

第11回 飯田丘のまちフェスティバル グルメサミット



平成29年
11月3日(金・祝)

リニア沿線信用金庫との連携事業に取り組む中、飯田丘のまちフェスティバルにおけるグルメサミットとして山梨県1事業者、岐阜県1事業者により「リニア沿線ブース」を出展しました。

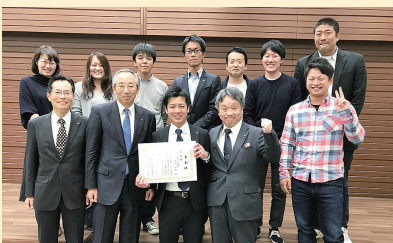
第49回 しんきん経済講演会



平成29年
11月7日(火)

株式会社TMオフィス代表取締役の殿村美樹氏を迎え、「ブームをつくる～人がみずから動く仕組み～」のタイトルでご講演いただきました。

第5回 関東地区信用金庫ロールプレイング大会



平成29年
11月11日(土)

当金庫の営業係ロールプレイング大会の優勝者が、東京都の信用金庫会館で開催された関東信用金庫協会主催の大会に出場し、見事準優勝を収めました。

第10回 三遠南信しんきんサミット



平成29年 11月18日(土)

三遠南信地域の9信用金庫が主催し、浜松市においてしんきんサミットが開催されました。日本の構造研究所代表・元横浜市長の中田宏氏を迎え、「地域経済の活性化」のタイトルでご講演いただきました。また恒例のしんきん物産展は、あいくの雨の中3地域の業者の出展に大勢の来訪者で賑わっていました。

第12回 がんばる女性応援フェア ブース出展



平成29年 11月19日(日)

がんばる女性を応援することを目的に、一般社団法人South-Heartが主催するイベントです。「Cafe」「Therapy」「Beauty」「Body」のテーマごとに、地元で起業している個人事業主などがブースを出展しています。飯田信用金庫ブースでは、資産アドバイザーがお金に関するクイズを出題しながらお金の貯め方をアドバイスしました。

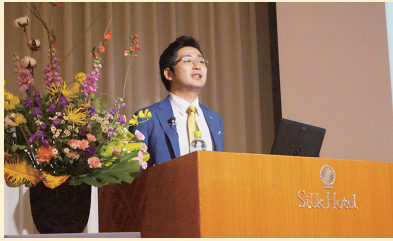
防災訓練



平成29年 11月24日(金)

当金庫では毎年、全店で防災訓練および緊急事態対応手順テストを実施しています。当日は飯田消防署にご協力いただき、はしご車を使用した本店ビル6階からの避難訓練を行いました。

SYMS経営者大会2017



平成29年
11月27日(月)

明治大学政治経済学部准教授の飯田泰之氏を迎え、「日本の経済の展望～地域と企業から生まれる経済成長～」のタイトルでご講演いただきました。

VC長野トライデント ホームゲーム 高森大会



VC長野トライデント

平成29年
12月2日(土)・3日(日)

下伊那郡高森町民体育館でのべ1,200名の観客が見守る中、2日間にわたり2試合行い、1勝1敗の結果となりました。そして、2018/19シーズンから始まる新リーグでは、トップリーグの「V1リーグ」参入が決定しました。

第2回 みなみ信州駅伝・ロードレース大会



(公財)飯田市体育協会

平成29年
12月3日(日)

南信州の郡市民が駅伝やロードレースを通じて、身体を動かすことの楽しさを体験し、スポーツ活動の日常化や競技スポーツへの進展へ結びつけるために、公益財団法人飯田市体育協会が主催しスポーツ文化の向上を図っています。当金庫からも多数の選手が出場しました。

青年部バスハイク



平成30年
2月3日(土)・4日(日)

入庫5年目までの若手職員で構成される青年部では、毎年バスハイクを行い交流を深めています。千葉県の木更津・鴨川へ行き、絶景スポットの見学や買い物を楽しみました。

女性応援セミナー キ★ラ★リ Vol.3



平成30年
2月17日(土)

地域の女性がいきいきと活躍していくための情報提供の場としてセミナーを開催しています。飯田市立病院認定看護師の方は「女性が知っておきたい医療の実態」、当金庫資産アドバイザーは「病気にかかるお金を今から準備する方法」のタイトルで女性限定のセミナーを実施しました。

食の縁結び! 南信州うまいものマーケット・商談会



平成30年 2月18日(日)

南信州地域の食品・食材を県外へ広く発信するとともに、観光PRを目的として、名古屋市の金山総合駅で食品物産展が開催されました。当金庫のお客さまも多数出展し、首都圏や中京圏のバイヤーおよび一般の来訪者にPRされていました。

ものづくり補助金セミナー



平成30年
3月20日(火)

平成29年度補正予算「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業」による通称「ものづくり補助金」が、平成30年2月28日から4月27日まで募集されました。この補助金は当金庫のお取引先の関心が高いため、長野県内の事務局を務めている長野県中小企業団体中央会ものづくり推進部の増山清氏を迎え、セミナーを開催しました。



フレッシュアズ 給与振込キャンペーン

平成29年 2月20日(月)～5月31日(木)

キャンペーン期間中、当金庫に新たに給与振込をご指定いただき、本キャンペーンにご応募いただいた方に、VJAギフトカード1,000円分をもれなくプレゼントいたしました。



口座開設アプリ

平成29年 4月3日(月)～

「本人確認書類」、「印影」を郵送することなく、スマホを使って簡単・便利に口座開設のお申し込みができるアプリの取り扱いを開始いたしました。



未来応援定期積金 「DREAM2027」

平成29年 5月15日(月)～7月31日(月)

10年後の2027年にリニア中央新幹線開通ならびに長野県新駅誕生が計画され、工事着工など本格的に始動しています。これからの10年間で大きく変化するこの地域において、将来への期待を感じ、当金庫と地域が一体感を持って「夢」を描くコンセプトにより、特別金利の定期積金を発売いたしました。ご好評につき7月31日をもって募集口数達成により販売終了となりました。



未来応援定期 「結」

平成29年 6月12日(月)～8月31日(木)

特別金利の定期預金を発売いたしました。ご好評をいただき、期間中117億円お預け入れいただきました。



農業者向け専用当貸ローン 「アグリパートナーII」

平成29年 11月13日(月)～

「農業分野」で活躍する法人・個人(兼業含む)のお客さま向けに、スピーディーかつ反復利用可能な当座貸越タイプの新商品の取り扱いを開始いたしました。株式会社農業総合研究所のプラットフォーム活用や、当金庫クラウドファンディングスキーム「Collabo(コラボ)」による事業の成長支援についても併走してまいります。



農業被害等 緊急対策資金 「畑(はたけ)のお守り」

平成29年 11月13日(月)～

台風等自然災害に被災された農業を営む法人・個人(兼業含む)のお客さま向けに、農業の復旧に必要な資金ニーズに迅速かつきめ細やかに対応する新商品の取り扱いを開始いたしました。自治体の罹災証明を待たずに資金のお申し込みができるほか、同日取り扱い開始の当貸ローン「アグリパートナーII」の契約者特典の金利優遇等により、全力で農業の復旧をご支援してまいります。



特別金利定期預金 「暖」

平成29年 11月13日(月)～平成30年 1月19日(金)

特別金利の定期預金を発売いたしました。ご好評をいただき、期間中127億円お預け入れいただきました。



フリーローンキャンペーン

平成29年 12月1日(金)～平成30年 4月27日(金)

期間中に対象のフリーローン商品を50万円以上ご利用いただいた方に、QUOカード1,000円分をもれなくプレゼントいたしました。



しんきん多目的ローン 「さぼーと」

平成30年 1月4日(木)～3月30日(金)

提携事業所にお勤めのお客さまだけがご利用いただける専用商品「さぼーと」を期間中、10万円以上ご利用いただいた方に、QUOカード1,000円分をもれなくプレゼントいたしました。



無通帳口座de給与振込 キャンペーン

平成30年 2月19日(月)～5月31日(木)

期間中に当金庫で無通帳口座を開設し、その口座に給与振込をご指定いただいた方に、VJAギフトカード1,000円分をもれなくプレゼントいたしました。

りんご宣言

明るく(赤く)、まあるく、
密度(蜜度)高いサービスを
お客さまにお届けします



■ 明るいおもてなし

●お客さまの心に寄り添い、みずみずしい笑顔でお迎えます。

各店で「当店のCS宣言」を店頭に掲示し、お客さまに、より満足してご利用いただける金融機関を目指して日々取り組んでいます。

〈活動の一例〉

◆「ユニバーサルサービス実践研修」実施(平成29年11月8日)
全24店舗および本部の女性職員で構成する「内務リーダー」25名を対象に、身体に不自由を抱えたお客さまや高齢のお客さまが、どのような不便を感じているか体験し、窓口やATMでどのような対応が求められているかを学びました。



高齢者疑似体験(本店営業部ロビーにて)

高齢者疑似体験(本店営業部ATMにて)

■ まあるいお付き合い

●お客さまにずっと愛されるよう、心のつながりを大切にします。

お客さまに愛され続ける金融機関となるために、窓口や訪問先などでお客さまの何気ない「つぶやき」を集める取り組みを行っています。お客さまの「つぶやき」は各店から本部へ集められ、金庫全体で共有しています。お客さまの温かいお言葉に元気をいただいたり、日々の改善に活かしています。

〈活動の一例〉

◆「本部職員による外部研修の拡大」
当金庫は平成31年度のビジョンとして「CS活動における地域のリーディング企業として、地域社会に貢献している(地元のお客さまのCS意識が向上している)」を掲げています。平成29年度は『「内」を固め、「外」に出るための準備』をテーマとし、そのための一つのアクションとして、本部職員による外部研修の拡大を少しずつ行い、継続しています。



研修風景(平成29年12月)

■ 密度の高い金融サービス

●お客さまの身近で頼りになる存在であるために、
一人ひとりが学び続けます。

職員が選択できる学習内容を充実させ、お客さまのお役に立てるよう一人ひとりがそれぞれの課題に向けて継続的に学んでいます。

〈活動の一例〉

◆「CSハンドブック」
りんご宣言の礎となる「期待する人材像」に向かって、日本一を目指す具体的な行動を起こしています。「CSハンドブック」は、その行動のために必要な心構え、姿勢、応対、マナーなどを職員向けにわかりやすく解説した冊子です。マナー等で迷ったことがあればこの冊子を開き、「りんご宣言」を実施しています。



CSハンドブック(平成29年6月、全職員に配付)

飯田信用金庫 西支店・東野支店

新築移転 OPEN



人に寄り添い、
地域とともに。

西支店と東野支店は統合して、
新店舗「西支店」になります。



店舗イメージ

“もっと便利”に、生まれ変わります。

● 広々とした駐車スペース・バリアフリー設計

● 明るく清潔感あるくつろぎの空間

● 街並みと調和したデザイン・環境に配慮した設備

平成30年
9月18日
OPEN

ごあいさつ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
さて、飯田信用金庫「西支店」と「東野支店」は、来る平成30年9月18日(火)から統合して移転させていただくことになりました。
新「西支店」は、広くゆとりあるロビーと駐車場を持つ快適で利用しやすい店舗に生まれ変わり、充実したスタッフと最新機器の導入によって、これまで以上に質の高い金融サービスのご提供を目指しております。
今後とも、お客さまにご満足いただけるよう努めてまいりますので、引き続き新「西支店」をご愛顧賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

敬具

平成30年6月

飯田信用金庫
理事長 森山和幸



【新店舗】

飯田信用金庫 西支店

〒395-0086 長野県飯田市東和町1-4-6

TEL: 0265-22-2625

FAX: 0265-22-4194

【ATM】 平日 8:30~20:00

土・日・祝 8:30~19:00

コーポレートガバナンスの状況

当金庫は、総代会、理事会、監事会、会計監査人等による外部牽制・内部牽制体制のもとで、コーポレートガバナンスの体制強化を図り、経営の健全性・適切性の確保に努めております。

また、地域金融機関としての社会的責任と公共的使命を自覚し、当金庫グループは法令・倫理に基づくコンプライアンスの徹底を経営上の最重要課題と位置づけ、役職員一丸となって取り組んでおります。

飯田信用金庫内部統制基本方針

- 1.当金庫は金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制を整備しております。
- 2.当金庫は理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制を整備しております。
- 3.当金庫は金庫及びその子法人等の損失の危険の管理に関する規程その他の体制を整備しております。
- 4.当金庫は金庫の理事及びその子法人等の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制を整備しております。
- 5.当金庫は金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制を整備しております。
- 6.当金庫はその他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制を整備しております。
- 7.当金庫は金庫及びその子法人等における業務の適正を確保するための体制を整備しております。

内部統制基本方針の運用状況の概要

1.当金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制の運用状況

(1)当金庫はグループ全体として法令・倫理に基づく業務活動を経営上の最重要課題のひとつと位置付け、コンプライアンスマネジメントシステム(以下、「CMS」という)を構築、倫理綱領を定めるとともに、コンプライアンス基準書を策定・変更する等、体制の整備を行っております。また、子会社関連会社を含むCMS委員会にて毎年定期的に会合を行うとともに、所属員に対し毎年CMS教育を行っております。また、所属員のCMS行動基準の遵守状況を毎月定期的に確認しております。

(2)監査部は、法令等遵守態勢の有効性及び適切性について当金庫グループ全体の監査を行い、その結果を常勤役員・常勤監事及び本部各部署に報告するとともに理事会へその最終報告を行い、必要に応じて被監査部門及び関連部署に改善すべき事項の改善を求め、その実施状況を検証しております。

2.当金庫及びその子法人等の損失の危険の管理に関する規程その他の体制の運用状況

(1)適正な統合的リスク管理を実現するため、リスク統括規程を制定し、常勤役員が出席する毎月の「ALM委員会」においてリスクの把握・確認に努め、管理方法の改善を図っております。

(2)監査部は、内部監査において当金庫グループ全体の業務執行に伴い発生するさまざまなリスクを正しく把握し、適切に管理しているかを検証し、常勤役員及び常勤監事に報告するとともに理事会へその最終報告を行っております。

3.当金庫の理事及びその子法人等の取締役等の職務執行が効率的に行われるための体制の運用状況

(1)当金庫グループ全体の職務執行が効率的に行われるため、子法人等管理部門は四半期毎に財務報告を受けるとともに、毎年定期的にヒアリングを行い必要に応じて理事会及び常勤役員会へ報告しております。

(2)当金庫代表理事の業務執行状況は定例理事会において代表理事が担当部署毎に報告し確認を行っております。

4.当金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員が監事へ報告する体制に関する運用状況

(1)理事及び職員並びにその子法人等の役職員は、当金庫グループ全体に著しい損害を及ぼす事項について、CMS緊急事態対応に準じて速やかに報告を行うとともに、常勤役員が常勤監事に報告を行うこととしております。また上記の報告を行った所属員の職場環境が悪化しないよう適切な措置を講じよう当金庫グループ全体に周知しております。

5.監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制の運用状況

(1)監事は代表理事と定期的に会合を行い、理事会その他重要な会議へ出席し、当金庫の本支店並びに子法人等の監査を毎年行い代表理事に報告し、必要に応じて代表役員及び関連部署に是正を求めております。

(2)監事は内部監査部門・会計監査人等との連携を通じ、監査が実効的に行われることを確保しております。

6.当金庫及びその子法人等における業務の適正を確保するための体制の運用状況

(1)当金庫の子法人等の業務の決定及び執行について相互の連携が適正になされるよう、子法人等の非常勤取締役及び非常勤監査役を当金庫の常勤役員が兼務し、子法人等の取締役会に出席しております。

(2)監査部は、子法人等の法令等遵守態勢やリスク管理態勢の適切性・有効性を監査し、その結果を定期的に常勤理事及び常勤監事に報告するとともに理事会へその最終報告を行っております。

法令等遵守の態勢

◆コンプライアンスマネジメントシステム(CMS)

飯田信用金庫及び関連会社は、法令・倫理に基づく業務活動を経営上の最重要課題と位置づけ、役職員が信用金庫の持つ社会的責任と公共的使命を自覚し、法令等を遵守して行動することをお約束するため「倫理綱領」を定めております。

また、役職員一人一人の業務活動が倫理綱領に沿ったものであることを確実にするため、CMSの仕組みを構築し、運用しております。

このCMSにおいては、定期的なモニタリングや監査などを組み合わせることによってその実効性を確保するとともに、お客さまからお寄せいただくご意見・ご要望・苦情なども、業務改善や経営改善に反映させていただいております。

さらに、毎年の実施結果は、理事会での見直しによって継続的な改善を行っております。

飯田信用金庫 倫理綱領

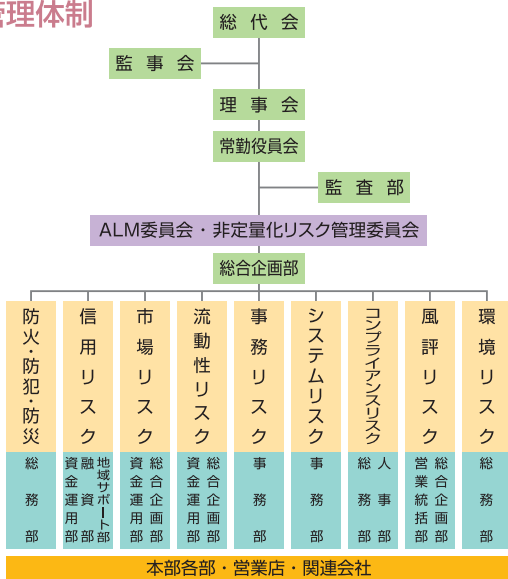
飯田信用金庫及び関連会社は、法令・倫理に基づく業務活動を経営上の最重要課題と位置づけ、これをマネジメントシステムとして確立し、継続的な改善に努める。

1. 飯田信用金庫及び関連会社の役職員・社員は、社会的責任と公共的使命を常に自覚し、責任ある健全な業務運営の遂行に努める。
2. 経済活動を支えるインフラとしての機能はもとより、創意と工夫を活かし、お客さまのニーズに応えるとともに、セキュリティレベルにも十分配慮した質の高い金融および非金融サービスの提供等を通じて、地域経済・地域社会の発展に貢献する。
3. あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範に決してもとることの無い、誠実かつ公正な業務運営を遂行する。また、お客さまが当金庫及び関連会社との取引に関して期待する利益が不当に害されないよう、適切に管理するための態勢を整備することに取り組む。
4. 経営等の情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図る。
5. 飯田信用金庫及び関連会社の役職員・社員の人権、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保する。
6. 環境マネジメントシステムの適切な運用により、資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実践するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取り組む。
7. 社会の中においてこそ存続・発展し得る存在であることを自覚し、社会と共に歩む「良き企業住民」として、積極的に社会貢献活動に取り組む。
8. 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は、これを断固として排除する。
9. この倫理綱領は、飯田信用金庫及び関連会社の役職員・社員に周知するとともに、一般に開示する。

リスク管理の状況

総合企画部を統合的なリスク管理部署として位置づけ、当金庫がさらされるあらゆるリスクに対応する体制を整え、リスク統括規程に基づき状況に対応した適切なリスク管理を行っております。なお、定量化が困難なリスクについては、半期に1度開催する非定量化リスク管理委員会にて把握・管理する体制としており、その内容は理事会に報告しております。

●リスク管理体制



●コンプライアンスリスク管理

当金庫では、平成14年度からISOの手法を取り入れたコンプライアンスマネジメントシステムを構築し、運用しています。法令等遵守の基本方針である「倫理綱領」に基づいて年間の行動計画を策定し、役職員に対するコンプライアンス教育を行うと同時に、苦情・提案等を積極的に取り込み、改善に努めております。

また、このマネジメントシステムの確実な運用を確保するため、事務検査、内部監査などにより、多角的なチェックを実施しております。

●信用リスク管理

当金庫では、貸出資産の健全性を維持するため、貸出審査部門と業務推進部門を分離し、厳格な審査体制をとっています。また、内部研修の実施や外部研修への派遣により職員の審査能力向上を図るとともに、不動産管理システム及び信用格付システムの導入によって貸出資産の管理にも努めております。有価証券運用に関しては、市場リスク管理規程による限度額管理を行っております。

〔資産自己査定の実施〕

適正な償却・引当を行うため、資産の自己査定を実施し、リスク量の把握に努め、経営の健全性を確保しております。また、合理性のある査定のため、信用格付制度を導入しております。

●事務リスク管理

当金庫では、日常の事務ミスを未然に防止するため、内部規程の整備を行うとともに内部研修による職員の事務処理能力向上を図る一方、事務の内容によって日次、月次での店内検査実施を義務づけることにより、万一事故が発生した場合でも早期発見できる体制を整えております。

また、関連部署では逐一苦情の原因となった事務ミスや事務取扱方法を分析・検討し、事務ミス情報の共有化を図る体制を構築する等、積極的に改善に取り組んでおります。

●市場リスク管理

金融政策の変更により、市場運用環境も変化しておりますが、当金庫では市場リスク管理規程に基づき牽制機能を働かせる中で厳格で健全な運用管理に努め、ALM委員会でリスク量を把握・コントロールする体制としております。

●風評リスク管理

当金庫では、お客さまからのご要望やご不満に素早くお応えするための態勢整備に努めており、お取引店だけでなく本部担当部署も加わって現状の把握と原因の分析による問題解決を図るとともに、再発防止のための施策に反映する仕組みを整えております。

また、みなさまに安心してお取引いただけるよう、経営内容の積極的な開示に努めております。

●流動性リスク管理

当金庫では、流動性リスク管理会議を開催し、毎週支準準備資産の状況などをモニタリングしているほか、毎年実施するBCP訓練の現金手配訓練により緊急時対応に備えております。

●システムリスク管理

当金庫では、リスクの所在や種類などを明確にするとともに、厳格なセキュリティ管理と定期的な点検やシステム監査を実施して、安定的な業務遂行のための態勢強化を図っております。また、一般社団法人しんきん共同センターに加盟しており、不測の大規模災害等に備えた万全のバックアップシステムが機能し、万一コンピュータトラブルが発生しても迅速に対応できる仕組みとなっております。

●環境リスク管理

当金庫では、平成12年11月に環境マネジメントシステムISO14001規格の認証を取得、平成29年度は同規格の最新版へステップアップし運用を行っております。具体的には、当金庫業務が環境に与える影響を調査し、環境保護のための施策を立案して実施しているほか、お客さまが当金庫をご利用いただくことにより、環境保護活動にご参加いただけるような商品の開発に努めております。

環境への取り組み

当金庫は、飯田・下伊那に本店・支店を置く地元金融機関として、金融を通じて地域の経済発展に寄与することはもとより、飯田・下伊那という豊かな自然に囲まれた地域を未来に残していく責任を感じています。

豊かな風土を後世に引き継ぐために。

経済・文化貢献に加えて、環境改善に取り組むことは企業住民としての責務と考え、この目的をより合理的・効果的に達成するための手段として、国際的な環境マネジメントシステム規格であるISO14001の認証を、飯田信用金庫本店、支店、研修所、およびしんきんビジネスサービス(株)、飯田しんきんリース(株)、飯信商事(株)とともに飯田信用金庫グループとして取得しています。

■ 二酸化炭素排出量の削減や廃棄物のリサイクルをすすめています。

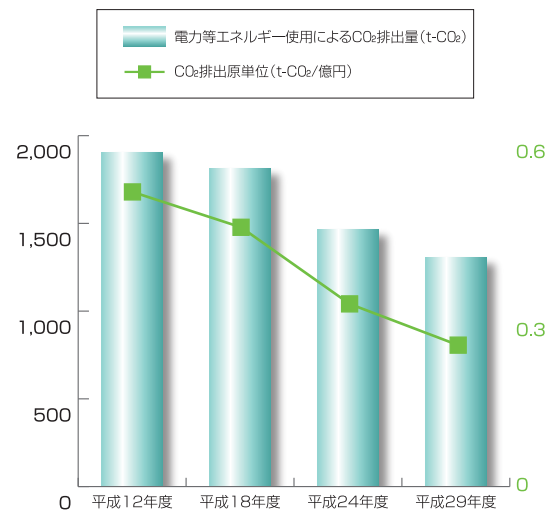
① 事業活動における環境負荷軽減の取り組み

地球温暖化ガス削減のため電力等エネルギー使用量の削減に取り組み、平成29年度の二酸化炭素排出量^(※1)は1,305トンとなり、基準年度とする平成12年度に比べ31.4%削減することができました。この結果、預金1億円あたりの二酸化炭素排出原単位^(※2)は0.24トンとなり、平成12年度に比べ52.0%減少しています。

(※1) 二酸化炭素換算係数は、環境省ホームページの資料(エコアクション21の換算表など)を使用しています。

(※2) 二酸化炭素排出原単位とは、預金量1億円あたりの電力等エネルギー使用による二酸化炭素の排出量を表しています。

◆ 電力等エネルギー使用による二酸化炭素排出量の推移



	平成12年度	平成18年度	平成24年度	平成29年度
電力等エネルギー使用によるCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	1,903	1,812	1,467	1,305
預金量 (億円)	3,790	4,070	4,633	5,272
CO ₂ 排出原単位	0.50	0.44	0.31	0.24

環境方針

1. 基本理念

飯田信用金庫は、飯田・下伊那地域に本店をおく企業として、地域環境・地球環境の保全活動に取り組むことの重要性を認識し、従業員一人一人が毎日の業務を通じて、地域の環境改善や文化創造への貢献に、積極的に取り組みます。

2. 基本方針

- (1) 当金庫の全ての事業活動が環境に与える影響を、適切に評価し改善するための管理システムを構築・運用し定期的に見直すことによって、継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。
- (2) 環境改善や汚染の予防の取り組みに関連して、法令、条例等の規制及び当金庫が同意するその他の基準等を遵守し、技術的、経済的に可能な範囲で一層の環境保全に取り組みます。
- (3) 継続的な環境改善と汚染の予防のため、優先的に取り組む項目を設定し、定期的に見直します。
- (4) 積極的な社内広報活動や計画的な環境教育の実施により、当金庫従業員全員の環境保全に関する意識を高めるとともに、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、生物多様性及び生態系の保護に努めます。
- (5) この環境方針は、当金庫の施設内で働く全ての人々に周知するとともに、一般に開示します。



天竜川水系環境ピクニック

② 環境情報の発信等

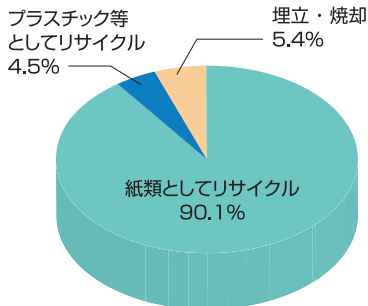
- 天竜川水系環境ピクニックへの参加
- 飯田市の「燃やすごみ」袋へ当金庫の広告を掲載 (広告料は飯田市の環境改善政策に活用されています)
- 地域ぐるみ環境ISO研究会への参加
- 長野県環境保全協会事業への参加
- ISO14001 (環境マネジメントシステム) 最新規格2015年版への認証更新

③リサイクルの推進

廃棄物のリサイクルをすすめて、事業活動により発生する廃棄物の94.6%をリサイクルすることができました。

◆平成29年度廃棄物リサイクル実績

平成29年度の総廃棄物量は61,022kgでした。廃プラと廃タイヤはサーマルリサイクル(高炉燃料)、その他はマテリアルリサイクル(再資源化)しています。



◆当金庫からの使用済紙のリサイクル



◆環境に配慮した素材の利用

エコユニフォーム

新ユニフォームのスカートはペットボトル再生繊維を60%使用しています。なお、使用後の制服はサーマルリサイクルしています。



エコクロス通帳

紙100%でできた通帳用紙を使用することにより、製造過程で発生する切れ端が新たな資源に生まれ変わります。



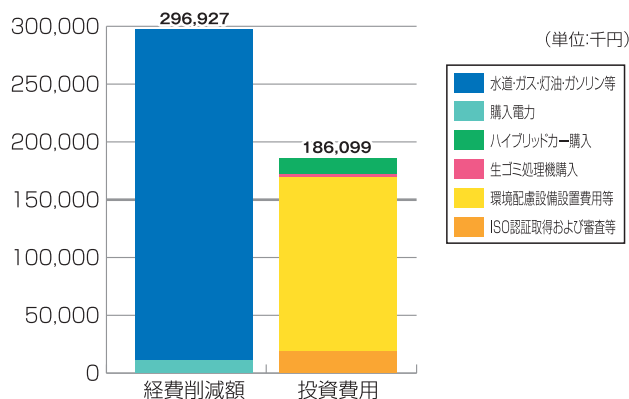
ベジタブルインキ

インキ中に含まれる植物油等が含有基準量以上のインキを使用しています。

■EMSの導入によりコスト削減効果も生まれています。

EMS(環境マネジメントシステム)を導入したことにより、平成29年度までの18年間で約1億10百万円のコスト削減効果がありました。

●EMS 取り組み以降の投資額とコスト削減効果



◆節電への取り組み

飯田信用金庫は、夏期の電力供給力の低下を受けて、照明の一部消灯や空調の適正な温度設定等の節電に取り組んでいます。

■融資商品を通じて二酸化炭素排出量の削減に寄与しています。

二酸化炭素排出量削減に効果のある商品の購入に際しての融資金利を優遇するローンを取り扱っています。平成17年度から自動車ローンと住宅関連ローンの取り扱いをしており、お客さまにご利用いただくことで二酸化炭素排出量の削減に寄与しています。

◆環境融資商品

商品名	優遇内容	優遇対象
カーライフプラン カーローンII	0.5%の金利優遇	エコカー減税対象車をはじめ、ハイブリッド車や電気自動車など低公害車を購入する場合
住宅ローン	0.1%の金利優遇	太陽光発電システム、CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)、ガスエンジン給湯器(エコウィル)、潜熱回収型ガス給湯器(エコジョーズ)など環境に配慮した住宅設備をする場合
リフォームローン	0.2%の金利優遇	

◆融資業務を通じてお客さまにより削減された二酸化炭素排出量の実績(平成29年度)

	新規ご契約件数	融資金額(千円)	二酸化炭素削減効果(kg-CO ₂ e)
住宅関連融資	36	742,240	119,560
低公害車購入ローン	172	348,750	604,140
合計	208	1,090,990	723,700

※二酸化炭素排出量削減効果については対象商品ごとに当金庫独自で算出しています。
※平成21年度より、エコカー減税対象車を金利優遇の対象に追加しています。

総代会制度

■ 総代会制度について

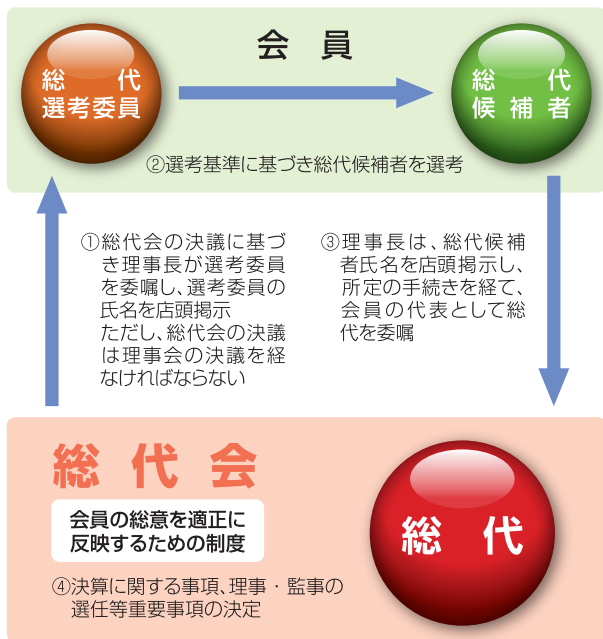
信用金庫は、地域の中小企業や住民のみなさまのための会員制度による協同組織の地域金融機関です。会員は出資口数に関係なく、一人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになりますが、当金庫は会員が多いため、総会の開催は事実上困難です。

そこで、当金庫では会員のみなさまのご意見を経営に適正に反映するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

総代会は信用金庫法により、決算事項、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関であり、会員のみなさまお一人おひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代によって運営されています。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



第94期 飯田信用金庫通常総代会

● 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。

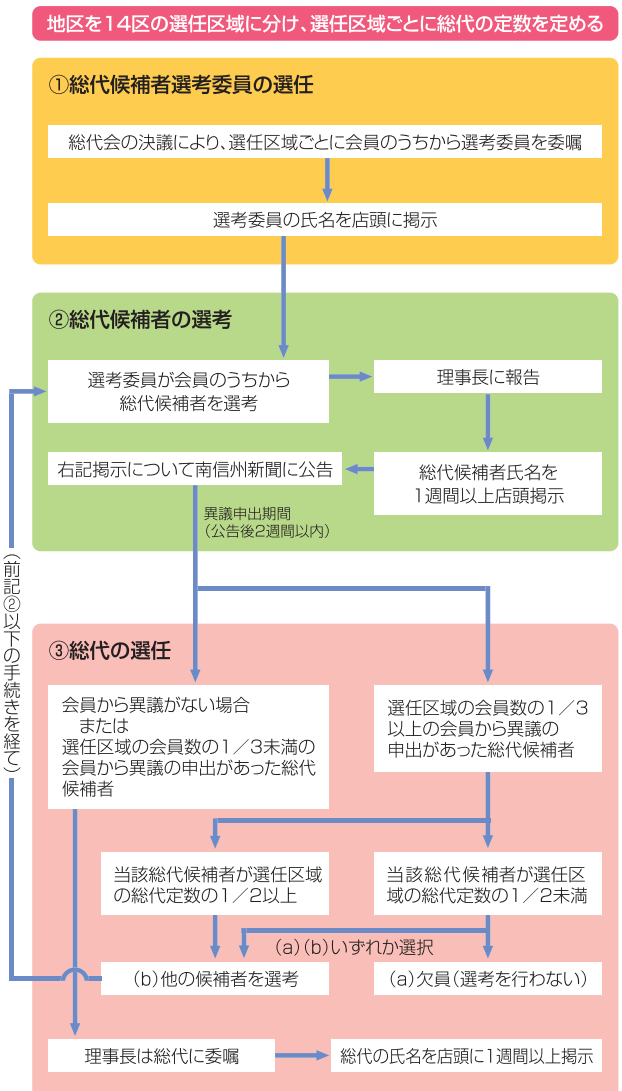
総代の選考は、次の手続きを経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ② 総代候補者選考委員が会員から総代候補者を選考する。
- ③ 総代候補者の氏名を店頭掲示する。
- ④ 会員が総代候補者を信任する(異議申出ができません)。
- ⑤ 会員の代表として総代に委嘱する。

● 総代候補者選考基準

- ① 資格・基準
 - ・ 当金庫の会員であること。
- ② 適格基準
 - ・ 総代として相応しい見識を有している方。
 - ・ 良識をもって正しい判断ができる方。
 - ・ 人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している方。
 - ・ その他総代選考委員が適格と認めた方。

● 総代が選任されるまでの手続きについて



●第94期通常総代会

平成30年6月22日開催の第94期通常総代会におきまして、次の議案が報告決議されました。

【報告事項】

第94期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

【決議事項】

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款の一部変更の件
- 第3号議案 会員の除名の件
- 第4号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件
- 第5号議案 総代候補者選考委員72名選任の件

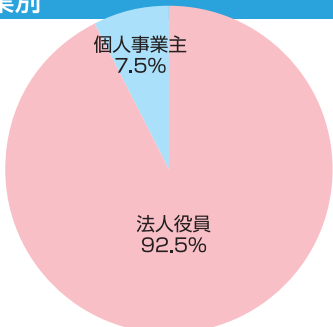
【その他】

●総代の氏名 平成30年6月末現在119名(敬称略・順不同) ※氏名の後の数字は総代への就任回数を表しています。

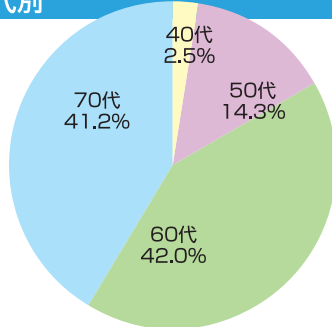
- ◆1区 旧飯田(人数:9)「橋北支店・東野支店」
柴田 忠昭⑥・武井 昭男⑤・篠田 健④・三村 勇二④
原 茂④・森竹 和己①・平沢 文博③・吉村 一彦②
宮島 源治①
- ◆2区 旧飯田(人数:9)「本店営業部」
外松 豊⑥・中山 景夫⑤・矢澤 章弘③・齊藤 勝久③
外松 秀康③・福澤 栄夫②・櫻井 英彦①・園原 達郎①
伊坪 眞①
- ◆3区 旧飯田(人数:6)「西支店」
宮内 雅博⑥・前田 隆⑥・木下 茂②・塚平 英行①
安藤 信男①・山村 晃弘①
- ◆4区 旧飯田(人数:7)「上飯田支店」
田中 康彦⑥・矢崎 隆司④・篠田 和秀④・高山 知彦③
松村 紘一②・渡辺 武彦②・小林 義尚①
- ◆5区 県・上郷・松尾地区(人数:10)「県支店・切石支店・名古屋支店」
木下 洋亮③・牧野 一成②・原 義博①・五十君親彦①
塚原 均⑤・萱垣 光英②・福澤 芳一①・夏目 佳春①
今井 育男③・伊藤 美明①
- ◆6区 県・上郷・松尾地区(人数:8)「松尾支店」
木下 龍亮⑦・後藤 八郎⑤・小澤 千亮④・木下 龍夫④
後藤 大治③・山下 大輔③・宮内 七郎②・澤口 一男①
- ◆7区 県・上郷・松尾地区(人数:10)「上郷支店・城東支店」
高田 忠重⑥・岩崎 計利②・手塚 宏行②・筒井 誠逸①
小平 善信①・原 治義④・唐澤 穰③・伊坪 弘年①
武藤 安雄①・前沢 元①
- ◆8区 北部・竜東地区(人数:5)「喬木支店」
野島 登④・松澤 徹③・小木曾啓人②・市瀬 光一②
萩原 順治①
- ◆9区 北部・竜東地区(人数:8)「高森支店・豊丘支店」
阿部 敏政③・下山 忠司②・宮下 裕次②・西條 和男①
三石 克己①・林 壽⑤・昼神 活由②・田中 孝志①
- ◆10区 北部・竜東地区(人数:8)「大島支店」
熊谷 伸治⑤・鋤柄 富男⑤・大林 和夫④・福島 信夫④
平瀬 長安②・大島 清夫②・桃沢 傳②・林 宗広②
- ◆11区 伊賀良・山本を含む西部地区(人数:12)「伊賀良支店・山本支店」
古田 満⑤・近藤 弘⑤・原 隆澄④・横田 敏彦③
後藤 茂隆②・土屋 茂博①・宮下 貴好①・松澤 光政①
久保田光一⑥・小田切通利⑤・原 昌弘③・尾澤 喜人②
- ◆12区 伊賀良・山本を含む西部地区(人数:7)「駒場支店」
小澤 由宗④・中島 秀明④・藤倉陽太郎②・小笠原敏彦②
岡本まり子①・濱島 英仁①・山口 清幸①
- ◆13区 竜峡・阿南地区(人数:9)「桐林支店・時又支店」
田畑 清秀④・金本 健司③・伊東 保夫③・荒井 健雄②
仲川 正博①・市瀬 隆司②・加藤 直樹①・小木曾 俊①
西尾 仁志①
- ◆14区 竜峡・阿南地区(人数:11)「阿南支店・新野支店・天龍支店・南信濃支店」
秦 和陽児⑤・野上 匡文④・佐々木 進②・金田 信保②
松澤 和彦①・勝野喜代始②・後藤 文登②・秦 義晃①
池端 清二③・近藤 力夫②・山崎 金生①

●総代の属性別構成比

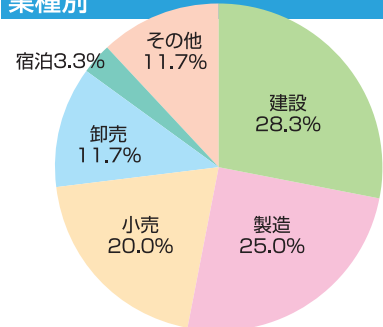
職業別



年代別



業種別



お客さま保護等への取り組み

■ 個人情報保護法への対応について

平成17年4月1日に「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、当金庫では金融庁、全信協などのガイドライン、実務指針、自主ルールなどを参照し、個人情報の保護と適切な利用に関する考え方および方針に関する宣言(個人情報保護宣言)の公表や保有個人データのご本人への開示手続きなどを定めています。

個人情報保護宣言の全文、その他個人情報の取り扱いに関する詳細については、当金庫のホームページの他、店頭掲示のポスターにてご案内しています。

ホームページアドレス <http://www.iidashinkin.co.jp/>



当金庫の個人情報の取り扱いに関してご不明な点がございましたら、お取引店窓口または事務管理課へお問い合わせください。

【飯田信用金庫 事務管理課】〒395-0054 飯田市箕瀬町2-2551-2 TEL.0265(52)0211 FAX.0265(52)0214

■ 反社会的勢力に対する対応について

平成19年6月に政府が「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」を公表したのを受け、当金庫では倫理綱領に「社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は、これを断固として排除する。」ことを明示し、この方針に基づき、取引約款等に「暴力団排除条項」の導入を行うとともに、警察庁、金融庁などと連携を図り、暴力団等反社会的勢力との取引排除に取り組んでいます。

この取り組みを進めるにあたり、当金庫ではお客さまが反社会的勢力に該当しないことを表明・確認する書面へのご署名をお願いしています。お客さまには、お手間をおかけすることとなりますが、この取り組みの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

■ お取引時確認のお願いについて

マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与の防止を強化する目的で平成25年4月1日「犯罪による収益の移転防止に関する法律」が改正されたのに伴い、信用金庫では、口座開設等に際して従来の本人確認(氏名、住所および生年月日等)に加え、お取引の目的、職業や事業内容等について確認(取引時確認)させていただいています。

また、平成28年10月1日の再改正に伴い、顔写真のない本人確認書類のご提示における追加的な確認、法人のお客さまの実質的支配者として個人の方まで確認、および外国政府等において重要な公的地位にある方等の確認などをさせていただいています。

また、平成26年7月1日から米国の外国口座税務コンプライアンス法(通称「FATCA」)に基づいて、「お客さまが米国人に該当するか」の確認、平成29年1月1日からは租税条約等の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律(略称「実特法」)に基づき、「お客さまが居住者として租税を課される国(居住地国)はどこか」について確認させていただいています。

併せてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

❗ 振り込め詐欺にご注意ください

「ATMで還付金が受け取れる」と言われたら、それは詐欺です。最近はおれおれ詐欺や還付金詐欺などの振り込め詐欺被害が増加しています。犯人は複数で劇団のように刑事役、弁護士役などを分担して演じることで被害者を信じ込ませ、お金を騙し取ろうとします。

少しでもおかしいなと思われたらお金を振り込む前、手続きする前に、もう一度ご家族やご友人などに確認・相談してください。

また、このような犯罪被害防止のため、当金庫では警察からの要請を受け、大口現金の払い戻しに際してはお使いみちの確認などの「お声掛け」をさせていただいていますので、ご理解をお願いします。

❗ キャッシュカードや暗証番号のお取り扱いにご注意ください

【お客さまへのお願い】

車上狙い等によりキャッシュカードが盗難に遭い、預金が不正に引き出される被害が社会的問題となっています。キャッシュカード等が盗難に遭ったり紛失されたりした場合は速やかに右記緊急連絡先までご連絡ください。

キャッシュカードが盗難に遭った場合に、暗証番号に生年月日など、類推されやすい番号を使用していたり、暗証番号を記録したメモと一緒に保管していたりすると、不正引き出し被害発生の確率が非常に高くなります。キャッシュカードの暗証番号は当金庫ATMで簡単に変更いただけますので、類推されやすい暗証番号を使用されている場合は変更いただけますようお願いいたします。また、定期的に変更されることをおすすめします。

❗ 偽造・盗難キャッシュカードなど被害の補償について

当金庫では、個人のお客さまの偽造・盗難キャッシュカードによる不正な預金払い出し被害に対する補償を行っています。偽造・盗難キャッシュカードによる不正な預金払い出し被害に遭われた場合は、各お取引店へご相談ください。

なお、補償に際しては、キャッシュカード・暗証番号の管理状況、被害状況、警察への通知状況などについて、当金庫の調査にご協力いただくことが必要となります。

お客さまに「故意」、「重大な過失」または「過失」がある場合には、被害額の全部または一部について当金庫が補償いたしかねる場合がございますので、キャッシュカード・暗証番号の管理に十分ご注意ください。

【盗難・紛失時 緊急連絡先】

曜日等	受付時間帯	連絡先	連絡先電話番号
平日	8:30~17:00	各お取引店	店舗一覧(P54-55)をご確認ください
	上記以外の時間帯	事務センター	フリーダイヤル 0120-58-0211
土曜・日曜・祝日	24時間対応		

金融ADR制度への対応

●お客さまからのご意見等に対する取り組み

飯田信用金庫は、金融商品や各種サービスなどに関するお客さまからのご意見、ご相談、苦情、紛争等(以下「苦情等」という)のお申し出に迅速・公平かつ適切に対応するため、以下のとおり金融ADR制度も踏まえ、内部管理態勢等を整備して苦情等の解決を図り、お客さま保護とお客さま満足度の向上に努めます。

1. 苦情等のお申し出があった場合、その内容を十分に伺ったうえ、内部調査を行って事実関係の把握に努めます。
2. 事実関係を把握したうえで、営業店と関係部署との連携を図り、迅速・適切かつ公平にお申し出の解決に努めます。
3. 苦情等のお申し出については記録・保存し、対応結果に基づく改善措置を徹底のうえ、再発防止や未然防止に努め、今後の業務運営に活かしていきます。
4. 営業店および各部署に責任者をおくとともに、総務部コンプライアンス課がお客さまからの苦情等を一元的に管理し、適切な対応に努めます。
5. 苦情等の対応にあたっては、解決に向けた進捗管理を行うとともに、苦情等のお申し出のあったお客さまに対し、必要に応じて手続の進行に応じた適切な説明を取引店から行います。
6. お客さまからの苦情等のお申し出は、全国しんきん相談所をはじめとする他の機関でも受け付けていますので、内容やご要望等に応じて適切な機関をご紹介します。
7. 紛争解決を図るため、弁護士会が設置運営する仲裁センター等を利用することができます。その際には、当該仲裁センター等の規則等も踏まえ、適切に協力します。
8. 苦情等への対応が実効あるものとするため、内部監査部門が検証する態勢を整備しています。
9. 苦情等に対応するため、関連規程等に基づき業務が運営されるよう、研修等により金庫内に周知・徹底します。

●苦情処理措置

当金庫は、お客さまからの苦情等のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ、パンフレット等で公表しています。苦情等は、各お取引店または総務部コンプライアンス課にお申し出ください。

- ① **各お取引店**(電話番号はP54-55参照)
受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)
- ② **担当窓口** 総務部コンプライアンス課
電話番号:0120-114-943(フリーダイヤル) 受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)

当金庫でお取り扱いいただいているお客さまからの相談や苦情を一般社団法人全国信用金庫協会が運営する全国しんきん相談所ならびに一般社団法人関東信用金庫協会が運営する関東地区しんきん相談所でも、電話、手紙、面談により受け付けています。

- ③ **全国しんきん相談所**
電話番号:03-3517-5825 受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)
- ④ **関東地区しんきん相談所**
電話番号:03-5524-5671 受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)

●紛争解決措置

東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会(以下「東京三弁護士会」という)、長野県弁護士会が設置運営する仲裁センター等で紛争の解決を図ることも可能ですので、各お取引店、総務部コンプライアンス課、または全国しんきん相談所へお申し出ください。

また、各弁護士会に直接申し立ていただくことも可能です。なお、前記弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外のお客さまにもご利用いただけます。

- ① **東京弁護士会 紛争解決センター**
電話番号:03-3581-0031 受付時間:9:30～12:00、13:00～15:00(土日祝日、年末年始を除く)
- ② **第一東京弁護士会 仲裁センター**
電話番号:03-3595-8588 受付時間:10:00～12:00、13:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)
- ③ **第二東京弁護士会 紛争解決センター**
電話番号:03-3581-2249 受付時間:9:30～12:00、13:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)
- ④ **長野県弁護士会 紛争解決センター**
電話番号:026-232-2104 受付時間:9:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)

なお、東京三弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外のお客さまにもご利用いただけます。その際には、下記の方法によりお客さまのアクセスに便利な東京以外の弁護士会の仲裁センター等もご利用可能です。

【移管調停】当事者間の同意を得たうえで、東京以外の弁護士会に案件を移管します。例)愛知県弁護士会に移管調停する。

金融商品に関する勧誘方針

私ども飯田信用金庫は、「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、金融商品の販売等にあたっては、次の事項を守って、適正な勧誘を行います。

1. 私どもは、お客さまの知識、経験、財産の状況およびその金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らして、適切でわかりやすい情報の提供と商品説明をいたします。
2. 金融商品の選択・購入は、お客さまご自身の判断によってお決めいただけます。その際、私どもは、お客さまに適正な判断をしていただくために、その金融商品の重要事項について説明をいたします。
3. 私どもは、誠実・公正な勧誘を心がけ、お客さまに対し事実と異なる説明をしたり、誤解を招くことのないよう、研修等を通じて知識の向上に努めます。
4. 私どもは、お客さまにとって不都合な時間帯や迷惑な場所での勧誘は行いません。

以上

※金融商品の販売等に関する勧誘についてご意見やお気づきの点等がございましたら、お近くの窓口までお問い合わせください。

■ ATMによるキャッシュカード振込の一部制限について

振り込み詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害は後を絶たず、依然として深刻な状況にあります。

特に、キャッシュカードを使用したお振込に不慣れな高齢のお客さまをATMに誘導して、預金を振り込ませる「還付金詐欺」が後を絶ちません。

当金庫では、こうした被害を防止するための対策として、一部のお客さまにつきまして、ATMによるキャッシュカードを使用したお振込を一部利用制限させていただきました。

お客さまには大変ご不便をおかけいたしますが、お客さまの大切な預金をお守りするための対策ですので、何卒ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

1.対象となる口座

70歳以上のお客さまの口座で、過去2年間ATMにてキャッシュカードを使用したお振込を利用されていないもの。

2.内容

上記の口座は、ATMにてキャッシュカードを使用したお振込ができなくなります。

※ATMでの振込限度額を「0円」とさせていただきます

3.お振込以外のお取引

キャッシュカードによるお預入れやお引き出しは、従来通りご利用いただけます。

4.上記の口座にてATMでのキャッシュカードによるお振込を希望される場合

平日の営業時間内に当金庫の窓口へお申し出ください。ご本人さまを確認のうえ、キャッシュカードによるお振込を可能とさせていただきます。

■ マイナンバー制度に関するお知らせ

平成28年1月より、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、マイナンバー制度が開始されました。

マイナンバー制度とは、税・社会保障・災害対策の分野における行政の効率化、国民生活の利便性の向上、公平・公正な社会を実現する社会基盤として導入された制度です。この制度により、国内に住民票を有する個人には12桁の個人番号、国内の法人には13桁の法人番号が割り振られています。

当金庫においては、税分野での一定のお取り引きにお客さまのマイナンバー(個人番号・法人番号)を届け出いただくことになりました。また、平成30年1月の改正法の施行により、預金口座へ個人番号・法人番号を付番することが追加されました。お客さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、マイナンバーは法令で定められた目的以外での利用は禁止され、取り扱いには厳格な管理措置が義務付けられています。当金庫では、「飯田信用金庫個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」に基づき、適正な取り扱いを行ってまいります。

■ お客さまからマイナンバー(個人番号・法人番号)の届け出をお願いする主な取引

個人のお客さま	法人のお客さま
<ul style="list-style-type: none"> ● マル優・マル特等の非課税貯蓄申告書関係 ● 財形預金(年金・住宅) ● 投資信託・個人向け国債の取引全般 ● 国外送金 ● 預金取引(当座預金・普通預金・定期積金・定期預金等) <p>※平成30年1月より</p> <p>※当金庫の出資会員または新規加入する場合、マイナンバーをお届けいただく場合があります。</p> <p>他、法定帳票提出時に必要な場合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期預金・定期積金・通知預金 ● 投資信託の取引全般 ● 国外送金 ● 預金取引(当座預金・普通預金等) <p>※平成30年1月より</p> <p>※当金庫の出資会員または新規加入する場合、マイナンバーをお届けいただく場合があります。</p> <p>他、法定帳票提出時に必要な場合</p>

※一度ご提出いただいた番号が変更となった場合は、再度ご提示をお願いします。

お客さまからマイナンバーをご提示いただく際、「番号確認」と「本人確認」をさせていただきます。お手続きの詳細につきましては、担当者よりご説明させていただきます。また、ご不明な点などございましたら、お取引店窓口または営業担当者までお問い合わせください。



地域密着型金融の推進への取り組みと 金融仲介機能の発揮

■ 地域密着型金融の推進への取り組み

当金庫は、平成29年6月に地域サポート部を創設しました。これにより、営業統括部業務推進課・経営相談所と融資部企業支援室が担当していた様々な経営相談や経営支援の窓口を一本化し、その機能を十分に発揮することを目指しつつ、お客さま本位の良質な金融サービスを提供し、当地域の発展に貢献したいと考えています。

そのような中、地域サポート部では様々な専門家との連携による良質な金融サービスの提供を目指しています。個人のお客さま向けとして、社会保険労務士2名が常駐し年金に関するご相談に応じています。さらに、個人のお客さまの金融資産の運用に関する専門的なご相談にじっくりと応じるため、資産アドバイザーを6名配置しています。

法人・個人事業主のお客さま向けとして、過年度より2名のアドバイザーがそれぞれ製造業(工業部門)の経営や商工会議所において長く経営支援に携わった経験・ネットワークを活かし、多角的な視点から親身にご相談内容の解決に向けた取り組みを行っています。さらに、長野県よろず支援拠点の専門家による経営上のあらゆるお悩みの相談にも応じています。よろず支援拠点とは、地域の商工会議所・商工会、金融機関、大学等の機関と連携しながら、小規模事業者・中小企業が抱える様々な経営相談に対応するため、平成26年度から国の委託を受けて各都道府県に1ヶ所ずつ設置された公的相談窓口です。地域サポート部では、当金庫職員向けに「長野県よろず支援拠点エクセレントパートナー研修」を開催し、多くの営業係・融資係が長野県よろず支援拠点の活動を理解し中小企業支援の推進について学びました。今後もお取引先の経営上の課題解決に向け、長野県よろず支援拠点の連携強化を図ってまいります。

■ 金融仲介機能の発揮

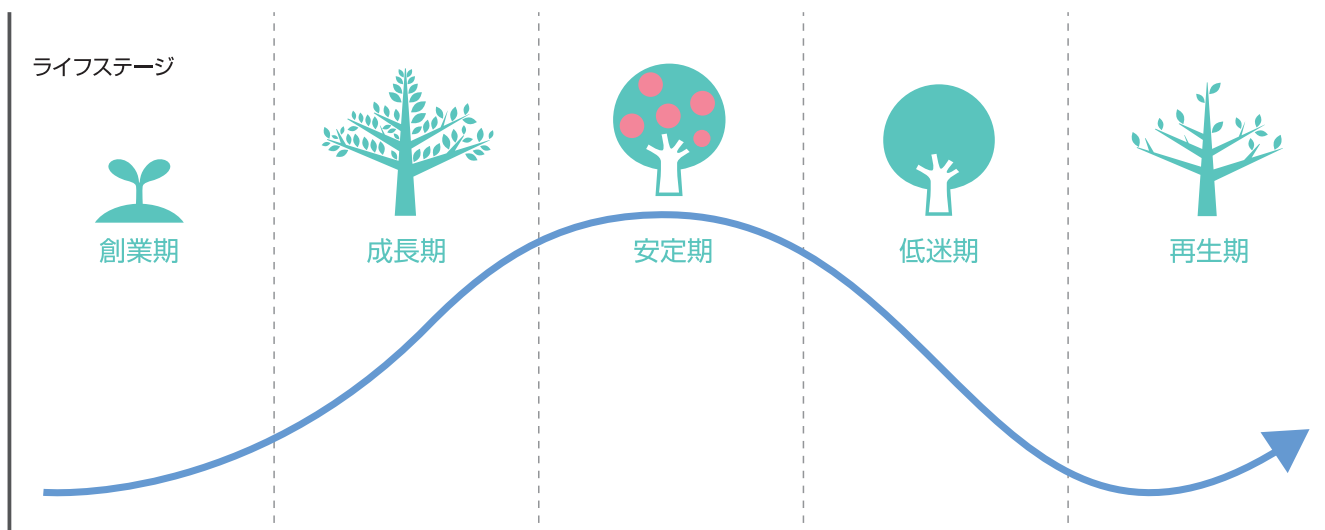
当金庫は、前述のようなお客さま本位の良質な金融サービスを提供し、金融仲介機能の質の向上に努めています。「金融仲介機能のベンチマーク」を利用してこの取り組みについてお客さまにもご理解いただくとともに、当金庫の取り組み状況の進捗管理や課題について自己点検・自己評価し、今後のお取引先の価値の向上につながる有益な金融サービスの提供を目指していきたいと考えています。

● お客さまについて理解を深めます

◆ ライフステージについて

当金庫は、地域のみならず日々のコミュニケーションを通じて、お取引先の経営目標の実現や経営課題の解決に向けて、ライフステージ(発展段階)を適切かつ慎重に見極めたうえで、状況に応じて適時に創業・新事業展開、売上向上、業務効率化、人材活用など最適な解決策(ソリューション)をご提案させていただいています。

当金庫では、お取引先からいただいた2,542先(平成30年3月末時点)の決算書等から、ライフステージの見極めや事業の状況を分析しています。



■ 共通ベンチマーク

当金庫をメイン先としてご利用いただいているお客さまについては、当金庫とのお取引先がお客さまのお役に立てよう、さらに理解を深めることに取り組んでいます。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末
メイン先数	1,078先	1,087先
メイン先の融資残高	896億円	879億円
経営指標等が改善した先数	651先	809先
経営指標等が改善した先に係る 3年間の事業年度末の 融資残高の推移	平成29年3月末	平成30年3月末
	596億円	694億円
	平成28年3月末	平成29年3月末
	598億円	695億円
	平成27年3月末	平成28年3月末
	602億円	693億円

様々な経営環境の変化により、当初に予定したような事業の展開ができず経営不振に陥ったお取引先に対し、当金庫は金融円滑の趣旨に沿った支援に取り組んでいます。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末	
中小企業の 条件変更先に係る 経営改善計画の 進捗状況	条件変更総数	508先	241先
	好調先	3先	1先
	順調先	21先	19先
	不調先	484先	221先

当金庫では、未だ具体的な事業の構想がまとまっていなくても、お客さまがお持ちのアイデアや熱い思いについて、創業前の個別相談などにより準備段階から支援に取り組んでいます。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末
金融機関が関与した創業件数	54件	55件
金融機関が関与した第二創業件数	3件	3件

当金庫は、地域社会・地域経済を支える柱として重要な役割を担っているお取引先のライフステージに応じた経営支援に積極的に取り組み、地域の発展に貢献してまいります。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末	
ライフステージ別の 与信先数	全与信先	2,539先	2,542先
	創 業 期	67先	65先
	成 長 期	60先	60先
	安 定 期	704先	684先
	低 迷 期	53先	75先
	再 生 期	355先	367先
ライフステージ別の 与信先に係る 事業年度末の 融資残高	全与信先	1,628億円	1,630億円
	創 業 期	31億円	33億円
	成 長 期	33億円	45億円
	安 定 期	439億円	402億円
	低 迷 期	6億円	15億円
	再 生 期	411億円	404億円

当金庫では、お取引先の事業について理解を深めるため、事業性評価に取り組んでいます。事業の成長性や今後の事業展開・将来性について妥当性を評価し、お取引先の事業の発展に寄与する様々な支援を考えてまいります。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末	
事業性評価に基づく融資を行っている 与信先数及び融資残高	先 数	206先	325先
	融 資 残 高	144億円	349億円
上記計数の全与信先数及び当該与信 先の融資残高に占める割合	先 数	8.1%	12.8%
	融 資 残 高	8.8%	21.4%

■ 選択ベンチマーク

お取引先の既存事業の発展や新たな事業展開に向けた相談に対して、本部と営業店が協働してその事業について当金庫の支援方針を検討する「事業性評価検討会議『Ai-biz(アイビズ)』」を開催しています。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末
事業性評価の結果やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先数	21先	45先
事業性評価の結果やローカルベンチマークを示して対話を行っている取引先数のうち、労働生産性の向上に資する対話を行っている取引先数	20先	37先

当金庫では、お取引先とコミュニケーションを深めつつ事業性評価に取り組むことにより、財務データや担保・保証・返済履歴等に必要以上に依存しない与信判断も行っています。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末
経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合	2,539先	2,542先
ガイドライン活用先数②	438先	583先
②/①	17.3%	22.9%

取り組み項目	平成29年度
新規に無保証で融資した件数	791件
保証契約を解除した件数	1件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)	0件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	27.68%

創業に向け必要な手続きのお手伝いや店舗・事務所等の情報提供、さらに起業家同士の情報交換を目的とした交流会などもご案内しています。また、資金調達においては、創業関連融資「未来STORY」や補助金等の情報提供を行っています。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末	
創業支援先数 (支援内容別)	①創業計画の策定支援 支援①	57先	61先
	②創業期の取引先への融資 (プロパーと信用保証付きの区別) 支援②(プロパー)	4先	2先
	支援③(信用保証付)	55先	53先

お取引先が経営資源の「選択と集中」のために行うM&Aや、中小企業経営者の高齢化に伴い需要が高まっている事業承継について、様々なネットワークを活用し幅広いアドバイスを行っています。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末
M&A支援先数	2先	25先
ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末
事業承継支援先数	4先	16先

お取引先の事業性評価や財務状況を理解するために、職員の自己啓発は欠かすことができません。お取引先の事業性評価や本業支援に資する研修への参加や、関連資格の取得を奨励しています。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末	
取引先の本業支援に関連する研修等の実施回数、同研修等への参加者数、及び同趣旨の取り組みに資する資格取得者数	研修実施回数	8回	8回
	参加者数	245人	238人
	資格取得者数	15人	13人

お取引先に対して専門性の高い支援事業を行うため、「よろず支援拠点」の活用および「ものづくり補助金」等の申請のお手伝いに積極的に関与しています。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	43先	38先

■ 独自ベンチマーク

当金庫は、金融を通じて地域の経済発展に寄与することに加え、環境方針を策定しグループ全体として環境に取り組んでいます。環境に対する具体的な取り組みとして、国が進めるクリーンエネルギーの推進政策を側面から支援するため、節電やCO₂削減に取り組む企業または個人のお客さまに専用の融資制度を設けています。

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末	
太陽光、小水力、風力、バイオマス等の発電設備資金等の実行累計	先数	51先	53先
	融資金額	4,064百万円	4,919百万円